

年 組 名前：

幹線道路に自動運転バス 甲府で実証実験始まる

実証実験を始めた自動運転バス

甲府市内



県などは9日、甲府市などの幹線道路で自動運転バスの実証実験を始めた。約2カ月間にわたり、安全に運行できるかどうかを検証する。

走行する中型バス（定員28人）には、目に見えないレーザ光を照射するセンサーやカメラを搭載。障害物を検知して距離などを計測し、自動運転をサポートする。アイメツセ山梨に配置する監視員が運行ダイヤの管理や安全走行の監視業務を担う。

コースはJR甲府駅から、ゆめソーラー館やまなし（甲府市下向山町）に至る約12・5キロ。片道約60分で、時速50キロを上限に走行する。自動運転レベルは一部の操作をシステムが担うレベル2。円滑な右折や本線合流につなげるため、笛南中北1交差点付近にセンサーを設置し、車両の死角部分の交通情報を伝える「路車協調システム」の実証も行う。

2月9日までは運転手のトレーニングを兼ねた運行準備期間とする。2月13日～3月1日に本格的な技術実証運行に取り組む。

県リニア未来創造・推進グループは「自動運転の走行環境の整備に貢献していきたい」としている。

〈小林諒一〉

(2024年1月10日付 山梨日日新聞 18面)

問1

県などは、幹線道路で自動運転バスの実証実験を始めました。バスには、安全対策として、どのような機器を搭載していますか。

問2

次の文章の①から⑤に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『実証実験のコースは、JR甲府駅から、①に至る約②キロ。片道約③分で、

時速④キロを上限に走行する。自動運転レベルは一部の操作をシステムが担うレベル⑤。』

①..... ②..... ③..... ④..... ⑤.....